

政務調査費レポート

1位 豊田市 篠田忠行（民主系無所属） 341,811円 アンケート回答の有無 有

【孤軍奮闘・市民の味方。なくせ、地方公共団体職員の優遇制度】

詳細は豊田市議会政務調査費（視察調査）に関する市民勝手調査報告を参照。（杉浦）

2位 岡崎市 自民党市議団 331,404円 アンケート回答の有無 無

【視察報告は非公開、訪問先に訪問記録はなし】

他の会派と比べても九州、東北、北海道など遠方への視察が多い。さらに、訪問目的を考えても観光旅行とどこが違うのか明白ではない。例を挙げると、7月2日～4日根室市、釧路市、帯広市(153,790円)は請求1名であるにもかかわらず8名での行動であったことがわかった。同行の7名は一般行政視察で出かけた同派の議員及び他会派1名である。議会活動である一般行政視察と目的が同じならば会派として政務調査費を使って同行させる必要はないと考えられるが、監査委員はこれを問題ないとした。また、8月12日～15日釧路市、帯広市、千歳市(141,980円)は訪問されたという市に接待記録がなかった。それでも監査委員は「自治体職員の説明、案内を避けて、直接、住民の声や町の雰囲気、施設利用者の意見等の情報を収集することが目的にかなう」と認定した。さらに7月9日～12日群馬県館林市、足利市、妙義町、諏訪市(93,850円)はすべて美術館等見学であり、観光旅行と何ら変わるところがない。阿児町は鵜方駅周辺の実情、亀山市、高山市は町並み保存の実情調査(84,820円)といい、10月1日～3日函館市、千歳市、札幌市、小樽市、余市町(120,030円)もまた訪問記録がなかった。10月22日～26日奥尻町(岡崎市は内陸部にあり津波被害は起こらないのに何を調査したのだろうか)秋田県八竜町、山形県酒田市、新潟県村上市(372,420円)10月28日～30日宜野湾市(海浜公園の運営手法らしいが、岡崎市は海に面していない)那覇市(92,370円)11月28日～29日掛川市、御前崎町(28,060円)1月8日～9日宇都宮市(61,460円)2月3日～6日米子市、益田市、防府市(213,260円)2月24日～26日徳島市、北九州市(90,580円)2月24日～26日徳之島、名瀬市(139,820円)2月24日～27日米沢市、大館市、青森市、八戸市(126,520円)3月26日～28日網走市、北見市、旭川市(133,000円)3月26日～28日熊本県玉名市、指宿市(105,010円)3月26日～28日那覇市、沖縄市、福岡県前原市(120,610円)などいろいろの理由をつけた観光巡りと推測される。(渡邊(研))

3位 岡崎市 自民新風会 319,530円 アンケート回答の有無 無

【先進地は遠方にしかありませんか、視察報告は非公開ですが。】

あいかわらず、九州、東北、北海道へ多人数の視察が多くあり、4月15日～17日札幌、函館に5名、4月17日～19日秋田県大曲市、角館町、宮城県白石市に4名、7月2日～4日北海道歌志内市、札幌市、小樽市に4名、10月21日～23日秋田市、小岩井農場、仙台市に4名、10月31日～11月1日種子島のある鹿児島県西之表市へ6名、岡崎市に廃校を利用すべき事案があるのか理解できないが、6月8日に山梨県須玉町の下津金小学校へ視察があり、合計2,608,220円を調査旅費に費やしている。親睦旅行とされないためには、市民から視察報告書の閲覧やコピーを請求されたとき、少なくとも公開すべきで、拒否したこと自体、視察目的が曖昧であったことの例証とならないだろうか。また、多人数での視察であることも親睦旅行とみなされて当然の行動である。(渡邊(研))

4位 豊田市 思政クラブ 267,965円 アンケート回答の有無 有

【豊田市を支えている自動車産業の「節約・カイゼン・効率化」精神を忘れた大会派】

詳細は豊田市議会政務調査費（視察調査）に関する市民勝手調査報告を参照。（杉浦）

5位 豊田市 公明党 267,270円 アンケート回答 有

【コミュニケーションを武器とした議員活動。デポジット制度の立法化を目指せ。】

詳細は豊田市議会政務調査費（視察調査）に関する市民勝手調査報告を参照。（杉浦）

6位 津島市 公明党 251,720円 アンケート回答の有無 有

【視察先での成果の公開を求める】

会派としての県外調査旅費率は83.9%を占める。夏は北海道へ、秋は九州へ視察に行く必要性は視察先の自治体のホームページを調べた限りでは理解できないなどの問題点はあるが、調査目的に合致した先進視察先を選んでいること（茅野市、諏訪市）、調査により得た情報が、議会質問に生かされていること、の2点は評価して良い。しかし、情報公開によって得た資料を見る限り、議長へ提出した報告書（情報公開文書）には調査目的を記載した用紙しか添付されていない。これでは、せっかく出掛けた視察先で得た情報が何なのか判らない。視察先での成果を市民にも公開する意識が必要である。（前田）

7位 豊川市 正政会 247,733円 アンケート回答の有無 有

【実態は全員参加の親睦・慰安旅行の疑い、説得力のない視察内容では税金のムダ使い】

この会派は、交付された政務調査費の約9割を県外調査旅費に使用した。2002年5月22日～24日に、北海道追分町、夕張市、富良野市へ会派議員6人全員で、10月28日～30日には、北海道函館市、登別市、千歳市へ会派議員6人全員に自由民主党豊川市議団の2議員も加わって、視察に出かけた。さらに、2003年2月3日～5日には、兵庫県芦屋市、広島県呉市・竹原市へ5人（2003年1月県議選立候補のため1人退会）で視察に出かけた。なお、この最後の視察では、鈴木源議員は所用のため1泊2日で帰豊している。所用があるときにあえて視察に出かける必要性和合理性はどこにあるのだろうか。不思議である。

視察復命書では、追分町、夕張市、富良野市視察の目的は、「豊川市を中心とした観光客の足止め」策、「豊川市のオンリーワンの発見」、「ごみに金をかけない策」等の課題に取り組むためとしている。しかし、地理的条件や文化や歴史的背景が全く異なる北海道が豊川市にとってどのように参考になるのが疑問である。復命書では、「日本の果て北海道」の自治体はいずれも「今日まで僻地という条件の中」で国の特別交付税を頼りに行政に取り組んできたが、国の補助金の大幅カットで「明日のまちづくりにゼロからのスタートのように思われる」とした上で、「これに比べ豊川市は恵まれた土地だなとつくづく思う」との所感を述べている。視察先の自治体への配慮を欠いた所感ではなかろうか。

千歳市の視察について、視察復命書は、豊川市の「農産物の出荷高はすこぶる高いが、最近、中国からの輸入が将来の農業経営に危機感を与えており、農業を取り巻く政策が大きな課題となっている」という問題意識によるものだとしながらも、「農家一戸当たりの所有面積は3町歩以上あり、気候も全く異なるので特別参考にはならなかった」と述べている。しかし、こんなことは視察に行かなくても分かるはずである。税金のムダ使いと言うほかない。

芦屋・呉・竹原3市の視察復命書では、呉・竹原両市の視察の成果は記載されていない。アンケート回答では、質問2の「百聞は一見にしかず」について、わざわざ「自分が頭で、文字だけで知っていることや、自分が密かに求めていたことが、現場や実態に直接触れて会得することが出来たとき、ワンポイントヒントを得たり、自信とやる気が起きるものだ。」というユニークな定義をしていただいたが、これを踏まえての追分町（ひまわりによるまちおこし）や富良野市（生ごみ堆肥工場）での視察の成果についての記述は、どう考えても6人の議員が北海

道まで視察に行かなければ得られないヒントとは思えない。また、少子高齢社会対策の必要性を何ゆえに夕張市まで行かなければ痛感できないのか、理解に苦しむ。他方、函館・千歳・呉・竹原4市については何の記述もない。視察によって初めて得ることのできた情報が全くなかったのだろうか。質問3（これらの視察を議員活動にどのように生かしましたか）に対しては、市長・部課長への提言や議会の一般質問で活用した旨の回答をいただいたが、上述のように説得力を持たない視察内容では、具体的な政策立案等に生かすことは無理ではないだろうか。（奥宮・青嶋）

8位 豊川市 自民党豊川市議団 240,358円 アンケート回答の有無 有

【こちら全員参加の親睦・慰安旅行の疑い、全参加者が個別に視察報告の提出を】

この会派も交付された政務調査費の87%を県外調査旅費に使用した。2002年10月30日～11月1日に佐賀市と全国都市問題会議（佐世保市）へ、11月20日～22日に沖縄県名護市、具志川市、那覇市へ、2003年1月27日～29日には香川県高松市、愛媛県内子町、松山市へ、いずれも会派全議員10人で視察に出かけている。

視察報告書を見ると、視察概要については丁寧に記述されていて好感をもてるが、沖縄県や香川・愛媛県の視察については、そもそも当該の視察地が選択され理由・目的や、視察の必要性が読み取れない。その結果、視察報告書の「所感」では、各所で「大いに参考となった」「大変有意義な視察であった」と記述されているが、説得力に欠けている。会派全員で参加しているのだから、現下の豊川市政の課題とどのような関連があって視察地に選択したかを説明しなければ、単なる親睦・慰安旅行とみなされても仕方がないであろう。

アンケート回答では、質問2（百聞は一見にしかず）に対して、「政治の原点は対話からの信念で視察を実施し、「情報収集し、新たに発想の転換を図り、先進市に後れをとらないように取り組んでいく責任を感じ行動」している等の抽象的な表現に終始しており、ここからも視察の成果を具体的に読み取ることはできない。他方、質問3（これらの視察を議員活動にどのように生かしましたか）に対しては、佐賀市視察に関連して、「平成14年12月定例議会において総合窓口センターについて質問し……市民サービス向上の施策に反映させ」という回答をいただいたが、その他の視察については全く言及していない。このように、アンケート回答も、全体として抽象的な回答にとどまり具体的な記述がないため、説得力に欠けている。

このように、この会派の視察の実態は、典型的な全員参加型の親睦・慰安旅行の疑いが強いと言わざるをえない。同一の視察に会派全員がどうしても参加する必要性と合理性があるというのなら、今後は、是非、参加者全員が個別に充実した視察報告書を作成・提出していただきたい。（奥宮・青嶋）

9位 豊橋市 まちフォーラム 240,095円 アンケート回答の有無 無

【情報公開度（透明度）をいっそう高める努力を】

この会派は、2002年度から、調査旅費の支出証明書の「支出内容」欄に、日付、視察地、調査目的を記載するように改善をはかった。その点では、豊橋市議会の他の会派と比べて一歩前進と評価できる。しかし、同市議会では、調査報告書の作成と提出・公表が行われていないため、調査の結果を市政の発展にどう反映させているのかが市民には見えてこない。この点では、県内の他の自治体議会と比較したとき、県外調査旅費の使途の透明度でも、市民への説明責任でも、著しく遅れをとっていることは否定できない。豊橋市議会の各会派が競って透明度を高めるための改善をするうえで、この会派に先導役を期待したい。

ところで、前述の支出証明書によれば、2002年度には、日帰り調査が延べ10人、10件、宿泊を伴う調査が延べ22人、延べ30泊行われた。いずれの調査も議員一人で行ってお

り、会派全員が参加する親睦・慰安旅行的な視察はみられない。しかし、2002年7月の電気の史料館(横浜市)、三鷹の森ジブリ美術館(三鷹市)、12月のおのみち文学の館(尾道市)、2003年1月の日本こけし館(宮城県鳴子町)、松島オルゴール博物館(同県松島町)、2月のふくやま文学館、ふくやま美術館、福山自動車時計博物館(以上福山市)等、個人的趣味によるのではないと思われる視察先が目立つ。これらの視察は何を目的とし、それを議会活動にどう生かしたのだろうか。この点について、今回のアンケート調査で是非回答していただきなかったのだが、回答がなかった。説明責任の放棄といわざるをえない。(青嶋)

10位 豊川市 自由民主党豊川市議団(再結成) 233,554円 アンケート回答の有無 有

【あわただしいのに具体性のない視察内容】

2002年10月28日から30日に行なわれた北海道(函館、登別、千歳)への視察は正政会と合同で行なっており、報告書も連名で作成されている。報告書の中で視察の成果として「豊川市と比較してすべて条件が恵まれていない中必死で取り組んでいた」「観光客(私たちに)も心から感謝・歓迎する態度はうれしくもあり、愛しい想いがした」とある。この報告書を読む限り、二会派の親睦は深まったかもしれないが、受け入れ先の人達には困惑をもたらす視察としか思えない。報告書も二会派合同でなく独自に作成すべきではないだろうか。

そして年度末の2003年3月26日、27日に滋賀県草津市、兵庫県出石へ1泊2日の視察を行っている。日程的にはさぞやあわただしいものであったと思われる。この日程を見る限りではよほどの必要性、緊急性があったはずであるが、アンケート回答では「本市より先進的な施策方針、実施中の事業を現地に赴き研究し、本市の施策に積極的に取り入れていく内容でありました」としか書かれていない。報告書には視察の成果として、「地元の人たちのやる気がなければ行政主体では発展は望めないであろう」と記されているが、これが視察に行かなければ得られない成果とは考えにくい。たとえ一見して観光地めぐりでない日程を組んだとしても、具体的な目的と成果を示せない視察はせっかく出かけても、税金のムダ遣いと徒労になりはしないだろうか。

* (会派を年度途中で解散し、再結成したため2002年8月13日から2003年3月31日までを調査対象期間とした。)(奥宮・鈴木)

11位 岡崎市 ゆうあい21 230,158円 アンケート回答の有無 無

【発電所のない岡崎市に核燃リサイクル事業見学は必要か】

7月22日～24日鳥取市、出雲市、松江市に視察旅行(344,640円)をしているが、会派の内4名が同行する必要はない。目的が明白であれば2名で十分であり、観光ルートでもあるので観光と見られてもやむをえない。同日5名は青森県六ヶ所村、盛岡市、江刺市に出かけている(565,000円)が、核燃リサイクル事業と岡崎市の関係が理解しがたく、その他の訪問地にしても目的が明白であれば2名で十分であり、観光旅行や親睦旅行と疑われても仕方がない。

同じことが11月5日～7日の4名で視察している宇部市、三原市、倉敷市、神戸市の視察(363,880円)にも言える。さらには2月17日～18日に至っては17日に4名が今治市の都市再開発を視察した後、他の4人は東予市で地域交流センターを視察した後、18日に高松市で全員合流して生涯学習センターを視察している(517,520円)が、親睦旅行をカモフラージュするための旅行でしかないと思われる。(渡邊(研))

12位 小牧市 小牧(自由)クラブ 215,208円 アンケート回答の有無 有

【会派挙げての北海道避暑旅行?】

会派寄与率0。会派を挙げて9人もが視察旅行に出かけたが、1件の関連質問もなし。報告書もおざなり。夏の北海道に避暑に出かけたと思われるも仕方がない。(津田)

13位 東海市 社会民主党 214,710円 アンケート回答の有無 有

【目的が見えない先進地の視察】

本市にあった視察かどうか、意見・感想を読んで疑問に思う。先進地を参考にするのもいいが、具体的にどのように調査結果を生かせるのかが重要であり、先進地の取り組みを羅列した報告では見解とは言えない。(松村)

14位 刈谷市 市民クラブ 212,672円 アンケート回答の有無 有

【概ね有意義な視察をしているが、議員による温度差も】

7月3日～5日に青森県弘前市、岩手県水沢市、宮城県名取市に、1月22日～24日に都城市、日南市、宮崎市に、2月に埼玉と国会に視察している。東北視察では、現地の対応者との話し合いを行い、積極的な視察している。成果が報告書のなかにも見られ、おおむね妥当であると思われる。また報告書の中で、施設の運営手法や建設費確保のための国からの補助金に対する疑問点など挙げている点は評価して良いと考える。会派からとどいた回答書の中の記載にも視察経験が議会での質問に反映されている。

南九州の視察では視察6人のなかで、積極的に調査結果を報告書のなかで反映させている議員とそれを行わない議員との温度差が見られる。一部の報告書の中では、今回の視察、特に日南市の合併状況の視察に関しては、ずいぶん有意義な調査ができたことが報告書の中からもわかる。しかし一部の報告書では、おざなりの感想文のような報告に留まり、視察報告書は誰のためのものなのか? と考えたくなる。視察行動を共にしているのだから与えられた素材(情報)に差はないはずだ。報告書は「税金使って視察したから、体裁をつくろうために最低限の形として表す」ためのものではないはずだし、それでは市民も納得しない。(大塚・新海)

15位 小牧市 公明党 211,550円 アンケート回答の有無 有

【アリバイづくりはお上手!】

会派寄与率0.17。報告書はかなり上手に作成されており、2件の関連質問もあった。報告書の出来は、夏場の避暑旅行の後ろめたさを隠蔽するためか。アリバイづくりが上手い。(津田)

16位 小牧市 新政クラブ 205,928円 アンケート回答の有無 有

【勉強の成果を議会に反映させて!】

会派寄与率0.107。IT政策関連が目的の視察に2回出かけており、5人の議員は両方に参加しているが関連質問は0。沖縄視察は会派を挙げて11人が参加しているが、その成果は疑わしい。一方、議会での関連質問には反映されていないが、大垣市での情報工房、福山市での総合交通計画の視察ではよく勉強してきており、まじめな視察もあったと思われる。(津田)

17位 津島市 清風会 205,577円 アンケート回答の有無 有

【引退前のごほうび視察?】

会派としての県外調査旅費率は68.5%であるが、回答書によると、「改選で会派が無くなり、視察に行った議員が居ないため、回答ができない」とのことであった。視察先は、5月に北海道の網走市、釧路市。他の会派と同じく、調査事項を羅列したプリントは添付されているが、肝心の得られた情報については何の記載も無い。老人保護・福祉複合施設の視察、観光行政について、街づくり支援センターについてなどどんな情報が得られたのか、調査報告がなにもされていないのは、問題である。2月には、暖かい九州の伊万里市、久留米市に。日程表や旅費計算書、調査目的表は添付されているが、肝心の報告書は同様に無い。視察旅行先に合わせて調査目的を設定したといっても過言でなからう。改選で引退や落選をした結

果所属議員がいないと思うが、共に観光地であることを考えると、引退前のごほうびだったのだろうか。(前田)

18位 刈谷市 公明クラブ 204,257円 アンケート回答の有無 有

【北海道への浮ついた視察がなければ、なお良かった】

県内、県外をとわず、具体的な目的をもって視察を実施している。主に福祉・育児・教育を中心とした視察活動を行い、各視察別のテーマを設定するのではなく、長いスパンで視察テーマ設定を行っている事も評価できる。今後は報告書の中に今後の議員活動における展望や、所感をもっと盛り込んでほしい。それだけに、旭川、富良野(「北海へそ祭り」)、滝川、札幌へ出かけた北海道視察が浮ついた観光旅行に見えてならない。これが息抜きだったであろうことは、アンケートの質問3(これらの視察を議員活動にどのように生かしましたか)で、北海道視察の内容が触れられていないことから窺える。北海道のことばかり言われるのは心外で、その他によくやっていることも見てほしい、とか、いつもがんばっているから、たまには息抜きも必要だ、とかお考えかもしれないが、議員さんのような公職者は駄目なところほど目立つのですよ。息抜きはぜひ、私費でやってください。(大塚・新海)

19位 刈谷市 自民市政会 203,770円 アンケート回答の有無 有

【北海道と沖縄の視察は税金の無駄使い】

北海道(室蘭市・栗山町・夕張市)と沖縄(糸満市・平良市)のゴールデンコースの視察をしっかりと実施している。この会派はアンケートをお寄せくださったが、アンケートの質問2(百聞は一見にしかず)に記載された回答は???である。

風力発電を調査した室蘭視察については、刈谷市で可能かどうかを研修したところ、平均風力等が不足のために無理であろうと判断した、との回答をいただいた。しかし、刈谷で風力発電が可能なら、とくに誰かが企画しているはずだ。果たしてこういうことは現地に行かないと判断できないものだろうか。夕張市については「衰退した夕張市の現状と緊縮財政の中から生き残りを賭けた自治体の必死の気持ちに感銘した。(略)当市は財政的に恵まれているが、今後の新しい方向に向けて努力が必要であろう。」とある。気持ちはわからないではないが、夕張市にしてみれば、ずいぶん失礼な視察ではないだろうか。

糸満市へは新庁舎を見に行ったようであるが、「今後の新庁舎建設に向けて有意義な研修であった」とあり、平良市については特にアンケートでは感想は記載されていない。私たちが見る限り、北海道、沖縄の視察は観光だったという以外に視察の必要性が伝わってこない。税金の無駄使いといって差し支えない。(新海)

20位 岡崎市 公明党 202,655円 アンケート回答の有無 無

【視察姿勢は評価できるのに、昼食代を請求する姿勢が残念】

おおむね議会活動として適切な調査をしていると思われるが、愛知県防災ヘリコプター視察時の空港レストラン内での食事代(3,850円)は、特に必要とする経費ではない。政務調査費を使ってもよいと考えるのは特権意識でしかありえない。また、視察の途中で立ち寄った食堂での飲食であり、会議を伴った飲食とはいえ岡崎市政務調査費規則に違反している。個人負担すべき経費である。(渡邊(研))

21位 東海市 日本共産党 202,241円 アンケート回答の有無 有

【自画自賛も市民の評価があつてこそ本物】

行政視察を有効に生かした事例として、数々上げられているが、その評価は自画自賛であっても仕方がないが、沖縄まで視察に行って得た情報が平和行政の取り組みとは、いかになんでも当たり前のことではないか。「菊とラン人形展」が地場産業の育成にどのように役立つ

のか、報告書が見たかった。(松村)

2 2 位 津島市 政友クラブ 197,895 円 アンケート回答の有無 有

【観光旅行が主で視察はおまけ？】

会派としての県外調査旅費率は 66%であるが、視察旅行は平成市民クラブと合同で行われた八戸市、古川市に加えて、九州国分市、都城市と 2 回行っている。平成市民クラブと合同で行われた八戸市の市町村合併に関する視察については、アンケート回答では一般質問等で生かしたと記載されているが、視察先で得た具体的な情報は報告書には記載されてなく、なにを視察しどんな情報を得たのかわからない。むしろインターネット等で数多くの市町村の合併運動状況を調べるほうが、議員活動に役立つのではないか。又、国分市、都城市に巡回バスの視察に行っているが、これも調査事項項目を記載したプリントがあるだけで、視察内容を具体的に記載した報告は何らない。津島市を取り巻く交通状況と九州の諸都市の抱える問題は異なるはずなのに、何がどのように政策に活かせるものなのか、わからない。国分市の乗車率の向上について「フリー区間乗車」の効用を述べているが、この情報を得るために、はるばる飛行機に乗って 2 泊の視察をする意味があるのか。愛知県内の多くの近隣自治体で行われている巡回バスの運営・問題・対応などを視察するほうがより有効なのではないか。宿泊先も、霧島温泉、都城シテイホテルであり、視察日程をみれば、観光旅行が主で、視察は従ではないかと、疑われても仕方がないであろう。(前田)

2 3 位 刈谷市 新政会 194,010 円 アンケート回答の有無 有

【社会見学と視察は違います】

福岡県、山口県の視察では、報告書の中にも調査目的が全く示されておらず、施設の紹介や数字だけを記されている。調査とは程遠い受動的な見学に終始している。なぜ現地に行かなければならないかという有用性を見つけることはほぼ不可能である。北海道視察に関して、報告書を見る限り、なんの調査目的を持ち現地視察 を行ったのか、全くわからず、富良野市の「北海へそ祭り」にいたっては、祭りの開催は 7 月下旬であるにもかかわらず、テーマとして取り上げ、報告書もおざなりな言及にとどめてある。旭川から札幌に行く前の立ち寄り名目としか考えられない。この会派もアンケートにお答えくださったが、質問 2 (百聞は一見にしかず)の回答からは、これらを訪問する必要性を理解することができなかった。また、質問 3 (これらの視察を議員活動にどのように生かしましたか)に対しては、市当局関係部署への提案をし、それぞれの事業での導入計画を確認することができた、とある。「導入計画を確認することができた」という記述からすると、市がすでにこれらの施設の導入を決定していた、とも受け取れる回答である。そうであるとすれば、導入を決定している事項をわざわざ視察する必要はなかったことになるのだが。(大塚・新海)

2 4 位 東海市 緑水クラブ 193,847 円 アンケート回答の有無 有

【視察旅行、皆で出かけりゃ恐くない】

全体として、先進地の取り組みの紹介とその事業費の情報入手目的の視察である。このような情報は、わざわざ行くまでもなく電話や資料の請求でも入手できる情報ではないだろうか。同一目的で、同一目的地に会派ごぞって行く意味はない。(杉浦・松村)

2 5 位 知多市 公明党 189,745 円 アンケート回答の有無 有

【3 日で視察が 6 時間！】

知多市公明党議員団は平成 1 4 年 8 月 5 日から 7 日まで宮城県に視察に出かけた。しかし、視察の時間が短い。1 日目が午後 1 時半から 3 時半、2 日目古川市午前 9 時半から 1 1 時半、3 日目柴田町午前 9 時 4 5 分から 1 1 時 4 5 分。特に、2 日目の午後は「空白の時間」であ

る。また、オンブズマンへのアンケート回答には3日目のPFI調査について述べているが、他はどのように活用したのか不明である。(内田・渡辺(由))

26位 知多市 明和会 188,927円 アンケート回答の有無 有

【感動したからには、実行を期待する】

議会の本会議での質問と視察をリンクさせるなど、比較的まじめにアンケートに回答してきた。視察報告書も丁寧に書かれている。視察先の単なる活動紹介ではなく、疑問も呈されており、更なる活用を期待したい。(内田・渡辺(由))

27位 豊川市 公明連合市民クラブ 188,660円 アンケート回答の有無 有

【いつも一緒に行動するのはなぜ?】

アンケートの質問2への回答は、「視察は常に本市より政策が先進的という事で、本市に対しそれがよき政策であれば、その事を取り入れる事を目的に視察を行なっている。初めての情報も多くある」、これが全文である。せめて具体的情報の一つでもあげていただきたかった。

政務調査費収支報告書に添付された報告書の記載をみると非常に詳細であり、豊川市にどのように生かすかまで追求されており、市民を納得させ得るものとして評価できる。

注文をつけるとしたら、年3回行なっている視察が常に会派全員の5名一緒に出かけている点である。たとえば、2002年5月の視察地が福島、東京、千葉、10月が山口、香川、大阪にわたっているのにすべて一緒に行動している。それぞれの議員が取り組んでいる課題に分かれて視察すればもっと詳しく深く追求できるのではないだろうか。豊川市政により役立つはずである。慰安旅行もかねているように受けとめられがちで残念。今後の改善を求めたい。(奥宮・鈴木)

28位 知多市 市民クラブ 188,180円 アンケート回答の有無 有

【質疑を記載】

市民クラブは青森県に平成14年4月22日から3日間視察に行き、合計5時間半の視察を行っている。同年7月2日から3日間北海道に視察に行き、合計5時間の視察を行っている。視察時間は短い、視察先への質疑を記録しているのが注目に値する。アンケート回答も誠実である。(内田・渡辺(由))

29位 豊田市 フレッシュ21 186,650円 アンケート回答の有無 有

【やぶさめ観光、14年度の豊田市の運勢は吉か凶か?】

詳細は豊田市議会政務調査費(視察調査)に関する市民勝手調査報告を参照。(杉浦)

30位 津島市 平成市民クラブ 183,931円 アンケート回答の有無 有

【観光旅行的な視察】

会派としての県外調査旅費率は61.3%を占める。アンケートには真摯な回答書が寄せられているが、セミ観光旅行の感が深い。視察先は、八戸市、古川市。情報公開により公開された平成市民クラブの県外視察の報告書でも、又会派からの回答でも、八戸市、古川市での視察目的は記載してあるものの、視察によって取得した情報の内容はなんら記載がない。回答書には、市町村合併については様々な取り組みをした、とあるが、県外視察先である八戸市の合併取り組みの内容についての報告(情報公開文書)は白紙であり、津島市の合併運動にどのように寄与したか、すこしもわからない。また、古川市の視察目的「少子高齢化対策、民営保育所の建設について」は、回答に添付された16年度市民クラブ要望事項には何ら反映されていない。この会派の県外視察では、青森浅虫温泉に泊まり、最終日は、仙台市の視察?をしている。観光旅行といわれても仕方がなかろう。(前田)

31位 半田市 自民クラブ 180,220円 アンケート回答の有無 有

【視察先の成果を市政に生かし切れていない】

半田市で争点となっているPCB処理施設の問題について、室蘭市を視察している。いち早く勉強し、推進に向けた行動をしていることはわかるが、環境上の問題点を浮き彫りにする視察が行われているか疑問。また、半田市と地形が似ているという理由で尾鷲市を訪問し、津波対策について質疑応答をしたが、津波対策が半田市で積極的に取り組まれているとは思えない。(松村)

32位 西尾市 新世クラブ 180,000円 アンケート回答の有無 無

【単なる団体旅行では？】

7月22日～7月24日の東京都と静岡市への視察、8月26日～8月28日の北海道(根室市、釧路市)への視察は会派全員(9名)の参加による視察である。しかし、政務調査の対象となる政策は各議員ごとに関心が異なるはずである。また、視察の内容からみても、少人数であればあるほど実のあがる視察となるはずである。

また、北海道の視察目的は生ゴミ処理だそうだが、果たして年間を通して冷涼な根室や釧路の生ゴミ処理状況が西尾で役立つのだろうか。どうせ生ゴミ処理をみたいのであれば、夏の気候や産業構造、人口の類似したい西尾市の近くの自治体を視察すべきではないか。

こうしてみると、この会派の上記視察は観光旅行の色彩が濃厚だ。(新海)

32位 安城市 政和クラブ 180,000円 アンケート回答有無 有

【宿泊代を浮かして6,000円の夕食】

宿泊料を15,500円と上限を決めているのは好ましいが、実際の宿泊代金が少額の場合、その差額を6,000円もの夕食代金に支出をしていることを許している。市民感覚から見て、視察期間中毎日6,000円近くの夕食代を請求する神経を疑ってしまう。

全支出528,412円の内515,577円(97.6%)が行政視察に使われている。そのうち、7月24日～26日神戸市(地震防災対策の取組)、福岡市(人口島の整備)、宗像市(合併への取組)での視察の折、7月24日神戸市「珈琲青山」で1,732円支払い、夕食は三宮三ツ輪で15,000円(JTBトラベル安城店払い)、25日福岡市「弥太郎うどん」で1,920円、夕食は「よし田」で13,860円(JTB払い)、26日昼食を小倉区にある「黒田節」で4,500円支払った。

10月21日～23日姫路市(防災指導員制度)、新居浜市(防災体制の充実)、高松市(防災支援隊)に視察した際、10月21日姫路市「石挽蕎麦御座候」で昼食代3人分3,780円、新居浜市「スタンド末弘」で夜食代9,000円、22日昼食に同市「平八」で3,700円、夕食「大渚亭」15,000円(支払はJTBトラベル安城店)を、23日高松市「かな泉」で4,500円を支払っている。また、2003年2月17日～18日埼玉県日高市(都市ごみセメント資源化システム)、小金井市(東小金井駅北口土地区画整理事業、JR中央線他連続立体交差事業)に視察した際の昼食代、夕食代は記述がないため、問題はあるが省いた。これらは上記「市民クラブ21」と同様、政務調査費の用途基準に照らしてもなんら調査に要する経費でもなく、規則5条で支出してはならないとした飲酒等に関する費用に該当する。(渡邊(研))

34位 豊田市 市民クラブ 177,730円 アンケート回答の有無 有

【14年度は個人情報保護、議会活性化に焦点】

詳細は豊田市議会政務調査費(視察調査)に関する市民勝手調査報告を参照。(杉浦)

35位 小牧市 無会派(本多) 173,685円 アンケート回答有無 有

【新生クラブと仲良し？】

総合寄与率 0.25。いつも新生クラブと一緒に出かけている。報告書はおざなり。(津田)

36位 東海市 市友会 173,269円 アンケート回答の有無 無

【視察の目的は、行くことにある！？】

山形県への視察は、米沢市が東海市との姉妹都市ということであるが、視察の目的に具体性がない。例えば「伝国の杜」「山形花咲かフェア」を視察目的にしているかのようである。視察の報告書には、課題や、問題点の方が多いが、それならなにしに行ったのかと疑問に思う。(松村)

37位 知多市 知政クラブ 172,197円 アンケート回答の有無 有

【移動に余裕があるスケジュール】

知政クラブは平成14年8月27日から3日間、宮城県・岩手県に視察に行っているが、各市間の移動は2時間、移動を工夫すれば1日2市に対して視察できるようなスケジュールである。同年11月5日から3日間の栃木県・福島県視察も同様であり、中間地点の宇都宮で宿泊する必然性はない。2日目視察先の会津若松市に宿泊したため、3日目は単なる移動日になってしまっている。効率のよい視察はできないものだろうか。(内田・渡辺(由))

38位 豊橋市 清志会 171,354円 アンケート回答の有無 無

【使途に関する情報公開度(透明度)は最悪、しかも説明責任を放棄】

調査旅費の「支出に係る領収書等の証拠書類の写し」として提出されているのは、会派代表者による支出証明書のみである。しかも、その支出証明書の「支出内容」欄は、1件を除き、「〇月〇日、市視察、交通費・宿泊費等」という趣旨しか記載されていない。この支出証明書から分かるのは、旅行日、調査先の都市名、支出金額、調査参加議員名だけである。これによれば、2002年度には、日帰り調査が3人、3件、宿泊を伴う調査が延べ50人、延べ76泊行われている。しかし、肝腎の調査目的は、1件の調査目的の一部(自治体トップフォーラムへの出席)を除き、全く分からない。これでは、説明責任を故意に怠っているとしか考えられない。また、2002年8月の高知市・神戸市・堺市の視察には17人、11月の宇都宮市・郡山市・会津若松市の視察には16人が参加しているが、これ程多数の議員が参加する必要性があったとは到底思えない。

県内の多くの自治体では、政務調査費から調査旅費を支出した会派には、調査報告書の作成と提出を求め、提出された調査報告書は市民に公開している。また、豊川市や稲沢市のように、調査報告書が提出されない場合には、調査旅費の支出を禁じている例さえある。これらに比べると、この会派の県外調査旅費の使途に関する情報公開度(透明度)は最悪である。しかも、今回のアンケート調査に対して回答がなかった点は、二重の意味で説明責任の放棄といわざるをえない。(青嶋)

39位 知立市 市政会 171,333円 アンケート回答の有無 有

【視察は議員に経験を積ませるものにあらず】

平成14年5月20日～5月22日に函館市(観光行政の推進)と苫小牧市(生涯学習)へ、同年10月30日～11月1日に佐世保市(全国都市問題会議)と福岡市(川端商店街等)へ、平成15年3月28日に静岡県三島市(街中せせらぎ事業)と静岡市へ視察に行っている。北海道の視察については、他の会派でも必要性に疑問を感じるものがおおいが、知立市の市政会についてもやはり疑問とせざるを得ない。知立市と函館市とでは観光資源の内容も、市財政にしめる観光収入の割合も異なるはずである。アンケート回答では函館視察を参考に「知立よいとこ祭りのありかた」について質問をした、とのことであるが、格別函館に視察に行ったからこそ質問できた、という内容の質問が行われたとは考えにくい。また、

アンケート質問2（百聞は一見にしかず）には北海道視察はふれられておらず、三島市視察について「事業をすすめるにあたって行政が資金、企業が重機、市民が労力の提供と三位が一体となって取り組んでいた」との感想が寄せられているが、これとて、事前の調査で十分に知ることができたもののはずである。アンケートの末尾に、視察等の効用として議員の個人の中に視察の経験が生きており、市民との対話の中や日常の議員活動の中で大いに生かされている、との記述がある。しかし、問題はこのような個人的な経験のために税金を使うことの合理性ではないだろうか。もう一度税金を用いて行う視察の合理性について検討いただきたい。（新海）

40位 豊田市 加茂みきお（無所属） 169,110円 アンケート回答の有無 無

【北方四島交流センター視察、第6次豊田市総合計画にこの様な項目があったかしら？】
詳細は豊田市議会政務調査費（視察調査）に関する市民勝手調査報告を参照。（杉浦）

41位 安城市 自民クラブ 169,006円 アンケート回答の有無 有

【視察結果を議会に反映させているとの回答は評価するが、視察時の夕食代一人6,000円はなんなの】

全支出1,074,630円の内1,042,206円（97.0%）が行政視察に使われている。そのうち、2002年7月23日～25日に函館市（町づくりの推進とTMOの取組）、富良野市（生ゴミの処理とリサイクルの取組）、帯広市（環境基本計画）を視察した折、7月23日函館市「旅路」で御食事代5名分8,820円を、24日富良野市「春ちゃん寿司」で御飲食代として6,825円、25日帯広市「はげ天」で8,500円の昼食代を支払った。また、11月28日～30日には愛媛県松山市（行政評価システム）、新居浜市（駅前土地区画整理事業）、高松市（ふるさと体験郷「四国村」）を視察した折、11月28日松山空港内にある「松山観光港食堂」で昼食代6名分8,421円、夕食を同市「かわはら」でご食事代として30,000円、29日新居浜市「平八」で昼食代9,000円、松山市「天勝」で夕食30,000円、30日「四国村」にある「わら家」で昼食代8,800円を支払った。これらは上記「市民クラブ21」と同様、政務調査費の用途基準に照らしてもなんら調査に要する経費でもなく、規則5条で支出してはならないとした飲酒等に関する費用に該当する。（渡邊（研））

42位 春日井市 平成クラブ 167,662円 アンケート回答の有無 無

【目的・問題意識とも高い、良い視察が行われている】

8月に1泊2日で広島県因島市、岡山県岡山市へ行き、リサイクルセンター、クリーンセンターを視察した。また、2月には2泊3日で大分県日田市・臼杵市、宮崎県延岡市で、行政改革、市政評価、廃棄物処理について調査した。

ゴミ問題を重大テーマとしてピックアップし研究を重ねている点、また箱モノだけでなく市政に関するソフト面も調査しようとする点を評価したかったが、あいにく回答書をいただくことができなかつたためこれ以上コメントができず残念。（大堀）

43位 春日井市 市民連合 166,370円 アンケート回答の有無 有

【目的・問題意識とも高い、良い視察が行われている】

10月に2泊3日で青森県八戸市、岩手県宮古市、宮城県仙台市へ出向き、子育て支援、市民病院、知的障害者デイサービス、情報化支援とその交流拠点を視察した。また、1月には1泊2日で東京都葛飾区と神奈川県横須賀市で、高齢者住宅と中学校選択制度、行政改革と電子入札制度を調査した。

福祉関係を中心としながらも現に春日井市がかかえている問題・課題にテーマを広げて視察している様子うかがえる。委員会、定例会の一般質問・代表質問等でこれらの調査結果

を生かしているとの回答を得たが、具体的な内容を教えていただけたとなおよかった。(大堀)

4 4 位 半田市 クラブ2 1 160,758 円 アンケート回答の有無 有

【視察の必要性に疑問】

アンケートには丁寧にお答えいただいたが、質問2(百聞は一見にしかず)の回答を拝見する限り、インターネットなどで調査すれば良いことばかりと思われ、わざわざ視察をしてまで調査をする必要があるか疑問である。「被災から復興までのパワーを感じてきました」とし「百聞は一見にしかずにつきる」という感想をもたれた奥尻町の視察にしても、個人的な関心、興味から視察先として選定されたという印象しか持ちえない。(松村)

4 5 位 碧南市 公明党 159,800 円 アンケート回答の有無 無

【目的・問題意識とも高い、良い視察が行われている】

少人数で、目的を明確に意識した効率的な視察が行われている。議長宛に提出する会派視察研修報告書の記載も詳細であり、政務調査費を用いた視察の方法として、他の会派に見習ってほしい視察の例として評価できる。(新海)

4 6 位 西尾市 新世紀にしお 158,645 円 アンケート回答の有無 有

【目的・問題意識とも高い、良い視察が行われている】

新世紀にしおも、目的を明確に意識した効率的な視察を実施している。これも政務調査費を用いた視察の方法として、他の会派に見習ってほしい視察の例として評価できる。

なお、同会派からは、今回の調査の方法についてのご意見をいただいた。今後の調査の参考とさせていただきたい。(新海)

4 7 位 高浜市 公明党 152,800 円 アンケート回答の有無 有

【他会派と一緒にを行う視察の見直しを】

他会派と一緒に県外視察を実施している。視察先や目的を見る限り、団体旅行的なものはなさそうであるが、政務調査費は会派や議員の調査研究のために支給されるものである。他会派と同一の視察ばかり行っているのでは、政策策定の面での会派の存在意義を否定する結果になりはしないか。市政に独自の視点から切り込むことこそが求められていると思うのであるが。(新海)

4 8 位 犬山市 平成会 150,000 円 アンケート回答の有無 有 (合同視察旅行)

4 8 位 犬山市 平岡敦子 150,000 円 アンケート回答の有無 有 (合同視察旅行)

【出かけてみれば休館日】

10月に2泊3日で北海道へ出かけた。1日目のメイン視察箇所、深川市の情報拠点施設マルチメディアセンターは「休館日で視察できなかった」。まったくの無駄としか言いようがない。2日目は名寄市で「健康の森」を視察。犬山市の東部丘陵地帯の整備を念頭においているようだが、平岡氏自ら「民地では無理かも」と述べている。それは視察前から分かっていたはずで、なぜ視察先にしたのか理解に苦しむ。

なお、平岡氏は市議会議長への「視察成果報告書」で上述の休館などを報告しているが、平成会の報告書にはその記載がなく効果的な視察ができたといった体裁となっており、また「犬山市に対する提言」に何も記載されていないのはいかがなものか。

1月には鳥取県倉吉市の第三セクター方式のまちづくり会社を調査した。犬山市同様の城下町で目の付け所としてはいいが、平岡氏自ら「整備事業も完成したが市の活性化につながっているかどうか」と述べているように、滋賀県長浜市の黒壁のようにマスコミで日ごろ紹介されていないことなどから、成功していないことは想像できたはず。なぜわざわざ雪深い

山陰まで出かけたのが聞きたいところだ。(大堀)

50位 江南市 自民クラブ 149,844円 アンケート回答の有無 有

【都市圏で養豚業を継続するには】

7月に2泊3日で北海道、11月に2泊3日で沖縄へ旅行した。

苫小牧市のリサイクルプラザに関し「江南市としては苫小牧市のような広大な敷地は確保できませんが」と記述されている。そんなことは行かなくても分かっていたはず。参考とすべき視察先は敷地が広大な北海道ではないはず。リサイクルセンター視察が主目的ではなく7月に北海道へ行くことが第一義としてあったとしか思えない。

江南市に養豚業者がおり悪臭が問題となっているため、沖縄県具志川市でEM(有用微生物)による豚舎から出る悪臭の軽減を調査した、とある。沖縄県と3大都市圏の愛知県では立地条件が異なるので、これからの江南市における養豚業者のあり方を研究するならば都市圏で養豚業を行っている地域を視察すべきである。こちらも11月に沖縄に行くことが主目的ではないか、と疑いたくなる。(大堀)